

注意喚起情報

米づくり技術情報 No.11

令和8年6月30日

茎数多い！しっかり中干し！ 穂肥は葉色の低下を見て、遅れずに！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

6月30日発表の2週間予報(気象庁)によると、気温は平年並みから高くなる見込みです。

◎生育概況

6月30日現在の平坦部の生育は、「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」いずれも、平年と比べて草丈はやや短い～短く、茎数はやや多い～多く、葉数、葉色は平年並みとなっています。県の試験研究機関における出穂予想は「はえぬき」「雪若丸」とともに7月31日頃で概ね平年並み～1日早いと見込まれます。

「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」の生育(6月30日)

品種	項目	調査値	平年値	平年比・差	
はえぬき	草丈(cm)	45.3	47.9	95	やや短い
	茎数(本/m ²)	657	614	107	多い
	葉数(枚)	9.7	9.5	0.2	平年並み
	葉色(SPAD)	42.8	42.9	-0.1	平年並み
つや姫	草丈(cm)	48.4	51.3	94	短い
	茎数(本/m ²)	646	569	113	多い
	葉数(枚)	9.6	9.5	0.1	平年並み
	葉色(SPAD)	41.3	41.3	0.0	平年並み
雪若丸	草丈(cm)	41.3	44.1	94	短い
	茎数(本/m ²)	727	699	104	やや多い
	葉数(枚)	10.0	9.9	0.1	平年並み
	葉色(SPAD)	45.2	44.9	0.3	平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

茎数・葉色を確認して、品質と食味を重視した管理を行いましょう。

また、しっかりと根を張らせる水管理を徹底して、今後の高温に備えましょう。

(1) 直ちに中干し・作溝をセットで行いましょう！

まだ中干しを行っていない圃場では、直ちに中干しを行い、無効分げつを抑制し、根の活力を向上させ、穂肥がしっかりと行える稲姿にします。

中干しは小ヒビが入る程度を目安としますが、茎数が多い、葉色が指標より濃い場合は、強めの中干しを行います。また、作溝を行うことで、効率よく圃場全体に水を行き渡らせられ、中干し以降の水管理が容易になります。作溝は、通常3～5mごとに1本通しますが、難しい場合は、圃場の外周だけでも実施しましょう。



作溝を施工した圃場

(2) 穂肥は葉色の低下を確認して遅れずに！

穂肥は、茎数・葉色の低下を確認して遅れずに行いましょう。

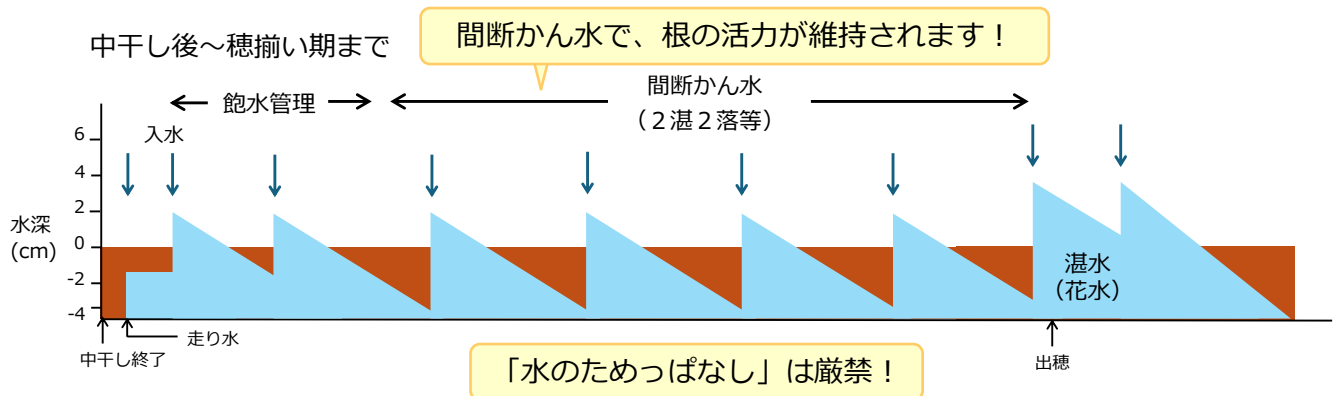
「はえぬき」は、7月7日頃（10.5葉期）までに茎数、葉色を確認し、出穂25日前に窒素成分で2.0kg/10aを上限に穂肥を実施します。茎数が700本/m²以上、または、葉色40以上（SPAD値）のほ場で、葉色が低下しない場合は、窒素成分で1.5kg/10a以下に減肥します。

「つや姫」は、7月4日頃（10葉期）までに茎数、葉色を確認し、出穂30日前に窒素成分で1.5kg/10aを上限に穂肥を実施します。茎数が600本～650本/m²、または、葉色が39～41のやや過剰な生育の場合は、出穂30日前に窒素成分で1.0kg/10aを施用します。茎数が650本以上、または、葉色が41以上の過剰な生育の場合は、出穂25日前頃までに、葉色の低下を待って、窒素成分で1.0kg/10aを施用します。ただし、葉色が低下しない場合は追肥を行いません。

「雪若丸」は、6月30日頃（9.5葉期）に茎数、葉色を確認し、出穂25日前に窒素成分で2.0kg/10aを施用します。茎数が750本/m²以上、または葉色が40以上の過剰な生育の場合は、窒素成分で1.5kg/10aを上限に減肥して施用します。茎数が560本/m²未満の場合は、穂肥の時期を早めて施用します。なお、6月中に補完追肥を行った場合は減肥します。

(3) 中干し後の「水のためっぱなし」は厳禁！

中干し終了後は、間断かん水もしくは飽水管理を行いましょう。間断かん水を行うことで土壌を酸化的に維持し、根の活力を維持することができます。



(4) 地域ぐるみの草刈りでカメムシ対策を徹底！葉いもち発生に注意！

6月24日に県病害虫防除所が発表した予察情報によると、斑点米カメムシ類の発生量は「多い」予報です。地域ぐるみで畦畔及び農道等の草刈りを励行し、斑点米カメムシ類の生息密度低下に努めましょう。また、水田内のノビエやホタルイも斑点米カメムシ類の発生源になるので、本田の残草対策も万全に行います。

今後いもち病感染に好適な気象条件となりやすいと見込まれます。圃場をしっかりと観察して、葉いもちの早期発見、早期防除を徹底しましょう。特に茎数が多い、葉色が濃い圃場は注意が必要です。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

